

「マーケットの^法読み・^未読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◇◆◇ No.0871 ◇◆◇

25/12/17

【 来年の干支は「丙午」、すでに株式市場では警戒感も 】

今年も残り 2 週間。さすがに来年の金融相場についての話もあちこちで取り沙汰されるなか、株式市場関係者のなかには早くも戦々恐々としている向きが少なくない。理由は幾つかあるのだが、そのひとつは、いわゆる相場格言。それによると、昨年から今年に掛けての「辰巳(たつ・み)天井」を経て、来年の「午(うま)」は「尻下がり」——と“予言”されているからだ。

今回の当レターは、これまでレポートした「日米金融政策」などの材料ではなく、相場格言や経験則をもとに来 2026 年の金融、社会情勢について考えて見たい。

<< 来年は「丙午」、エネルギー満ち溢れる一年か >>

まず基本情報をおさらいしておくと、来年の干支は「丙午(ひのえ・うま)」。十干の「丙」と、十二支の「午」が組み合わさった年になり、ともに火の性質を持つことから、「丙午」は火の力を象徴する年とされている。そして実際、江戸時代などには「丙午の年は火事が多い」——という迷信が広く流布していたという。そんな「丙午」だが、「丙」は別途「植物の芽が成長し、葉が広がり、成長が著しい状態を意味する」などとされるうえ、「午」も成長や成功・繁栄のシンボルかつ縁起がよいもの、と古来より考えられてきた。先で取り上げた「火の性質」も、考えた方次第では「情熱や勢いが高まり、太陽のようにエネルギーが満ち溢れる」といったポジティブな見方へと変換できるのかもしれない。よって、来 2026 年は「大きな飛躍のチャンス」などといった指摘をする向きもあるようだ。

<< 「丙午」の株価は「午尻下がり」——に要注意! >>

ご存じの方も多いと思うが市場参加者のあいだでは干支にちなんだ相場格言がよく取り沙汰されている。紙幅の関係もあり、関係ありそうなここ数年だけを書き出すと、先でも簡単に触れたように、2024-25 年の「辰巳天井」を経て、来 2026 年の「午」は「尻下がり」。そして、再来年にあたる 2027 年は「未(ひつじ)辛抱」へ続くことになる。ザックリ言って、相場格言からすると来年はその後に続く株価下落のスタートになる公算が大きいと言えよう。

そうした視点から今年の日経平均株価を振り返ってみると、確かに今年は史上初の 5 万円台を記録。まさに「辰巳天井」の様相を呈している気もしないではない。決して、株式に限ったことではないが、いわゆる「高市トレード」と言われる期待先行の状況も今後徐々に剥げ落ちることが予想されるなか、日経平均を中心とした 2026 年の株価は上値の重い展開が続く可能性もありそうだ。

なお、一応実際のデータをみておくと、過去の「午」年の株式相場は十二支のなかで、もっとも下落率が高いことがわかっている。つまり、先で取り上げた「午尻下がり」は、単なるイメージだけではなく、ある程度は事実に基づいたものと言えよう。

いずれにしても、来年は年間を通して考えると、株価は上方向よりも下方向の動きに注意を要する一年なのかもしれない。

<< 「午年」、為替は象徴的なレートを記録する可能性も >>

では、そんな株価の動きを踏まえた為替市場の動きは果たしてどうか。

為替の場合、変動相場制になってからまだ歴史が浅く、12 年に一度という「干支」にあわせたデータがあまりない——というのが正直なところ。

しかし、やや興味深いのは、1973 年の変動相場制以降過去 4 回の「午年」相場のうち 3 回までが、歴史的に見てなかなか象徴的なレートを記録していることになる。記録としてはもっと古い 1978 年は、変動相場制が導入されになり固定相場時代の 360 円からドルが一貫した右肩下がりをたどるなか、当時の最安値 175.50 円を記録し底入れを達成した年。次回の 1990 年は逆に 160.20 円というドルの戻り高値、そして 2002 年も 135.20 円というやはりドルの戻り高値——を記録していた。幸か不幸か前回 2014 年は、とにかく目立ったレートを記録したということはなかったものの、「過去 4 例中 3 回」で発生していたということは、一応頭の片隅にでもとどめておきたいところだろう。

ここ最近の相場状況を鑑みると、来年の早い時期にドル/円は2024年高値に匹敵する162円程度の戻り高値を記録するも、そののち急落。一貫した右肩下がりをたどる——などといった展開をたどる可能性もありうるか。是非とも注意しておきたい。

一方、過去の「午年」でもっとも思い出深いのは、先で取り上げた「株安進行」と関係性の深い、1990年「日本のバブル崩壊」か。株価的には1989年12月30日が当時最高値になるものの、いわゆる崩壊が顕在化したのは1990年の「午年」と言ってよい。また、2002年は欧州において、「単一通貨ユーロの流通開始」した年になる。(了)

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

Three black diamond symbols arranged horizontally.

Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved

10